

宅地造成及び特定盛土等規制法に基づく技術基準の修正前後対照表（R7.5⇒R8.5）

新 頁数	項目番号等	修正前	修正後
全般			誤字、脱字、軽微な表現を修正しました。
8	2 - 1 (4)	—	安定計算の標準式と力学イメージ図を追加掲載しました。
25	4 - 2 (2)	—	土圧係数の適用要件のイメージ図を追加掲載しました。
27	表 4 - 7	—	片持ばり式擁壁において、実背面を土圧作用面にとる場合の補足事項を追記しました。
31	4 - 2 (5)	—	現場打ちコンクリートの場合、検査時に強度確認する旨を明記しました。
32~34	4 - 3 (1) 4 - 3 (3)	—	標準的な土圧算定の参考式を追加掲載しました。
36	4 - 4 (2)	—	擁壁が側溝に近接する場合の根入れの考え方を追加掲載しました。
37	4 - 4 (4)	補強すべき隅角部の要件を明記していませんでした。	補強すべき隅角部の要件「 $60\text{度} \leq \theta \leq 120\text{度}$ 」を明記しました。
39	4 - 5 (1)	—	偏心距離の算定式を追加掲載しました。
39	表 4 - 13	合力の許容偏心距離を下記のとおり記載していました。 地震時：底版幅の 1/3 以下	採用根拠を見直し、下記のとおり改めました。 地震時：底版幅の 1/2 以下
40	4 - 5 (3)	—	地盤反力度の算定式を追加掲載しました。